



若葉区みつわ台は1970年代後半に分譲された、鉄筋5階建てを中心とした住宅団地。②～④は同じころ植えられた街路樹だが、①は1988年に開通したモノレールの建設工事の際に植えられたもの。



①モノレール下の街路樹

- ・ハナミズキは生育状況があまり良くなく、立ち枯れているものもあった。
- ・同じ植栽マスのサツキもところどころ枯れたままになっており、雑草が目立った。

連続植栽マスには雑草も多い

②みつわ台大通りの街路樹

- ・イチヨウの植栽マスには近隣の商店主など個人が工夫して花などを植えているところが見られた。



③都賀の台の街路樹

- ・マテバシイは植栽マスからあふれるように根元が太くなっている。また根が伸びて路面にひびが入っている。歩道が狭いので通行に支障がある。

④サクラ並木

- ・サクラは生育環境が悪いためか樹の寿命が短い、空洞化が認められたものなどは伐採し、植え替えが行われている。植栽マスを新しく作り直しているが、以前のものよりひとまわり小さくなっており、木の成長に耐えられるのか不安。



桜まつりも行われる並木



植え替えられたサクラ



空洞化で伐採された切り株

植栽マスには近隣住民が手をかけているものが見られた。また、地域の青少年育成委員会が主催して、植栽マスにシャスターデージーを植える活動が毎年行われている。

桜並木は、毎年「みつわ台桜まつり」の会場になるため、こまめに木の植え替えがされているが、その他の街路樹はあまり手入れがされていない印象だった。特に①の連続植栽マスは雑草が目立つため、近隣住民を巻き込んだ手入れがされてもよいのではないかと感じた。